



戦後の香取さ

いです。

成年向

注意

●成年向け同人誌です●

未成年の方の購読は出来ません。

たとえ第三者の依頼によるものであっても、購入者が未成年者の場合は購入をお断り致します。

●フィクションです●

この本に掲載されている内容はフィクションです。

犯罪を教唆するものではありません。

強姦は悪質な犯罪です。

法律で厳しく罰せられます。

決して真似をしないで下さい。

●無断転載禁止です●

この本（または作品の一部）の無断転載、複製、WEBサイトでの公開、DLを禁じます。

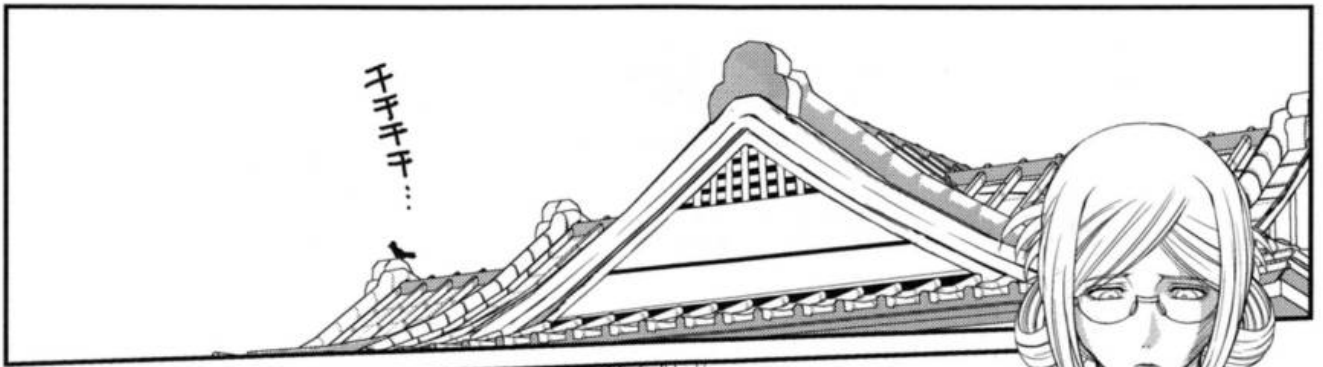
発見した場合、当サークルの代理人から、

対応、措置について連絡させて頂くことがあります。

Minors are prohibited from viewing this publication.

Providing this publication to minors is also prohibited.

No unauthorized reproduction, broadcasting, nor displaying will not be tolerated. Furthermore, the uploading of images taken from this publication to any publicly accessible computer network service is strictly prohibited.



私は三十代主婦
夫は軍関係に
勤務しています

冷めないうちに
お召し上がりください

私もかつては
軍関係の仕事に就いており
夫とはそこで出会いました

では
私はこれで

香取さん

終戦後に退役し
結婚したのは
今から五年ほど前

現在は
五歳になる
息子がいます

しかし
今回お話しするのは
夫の事ではなく

夫の父についてです

食事の前に
いつものアレを頼むよ

義父は六十五歳
海軍の将校でした

でも
お義父さま
私は……

六年ほど前に
体調を崩し
現在は自宅療養を
おこなっています

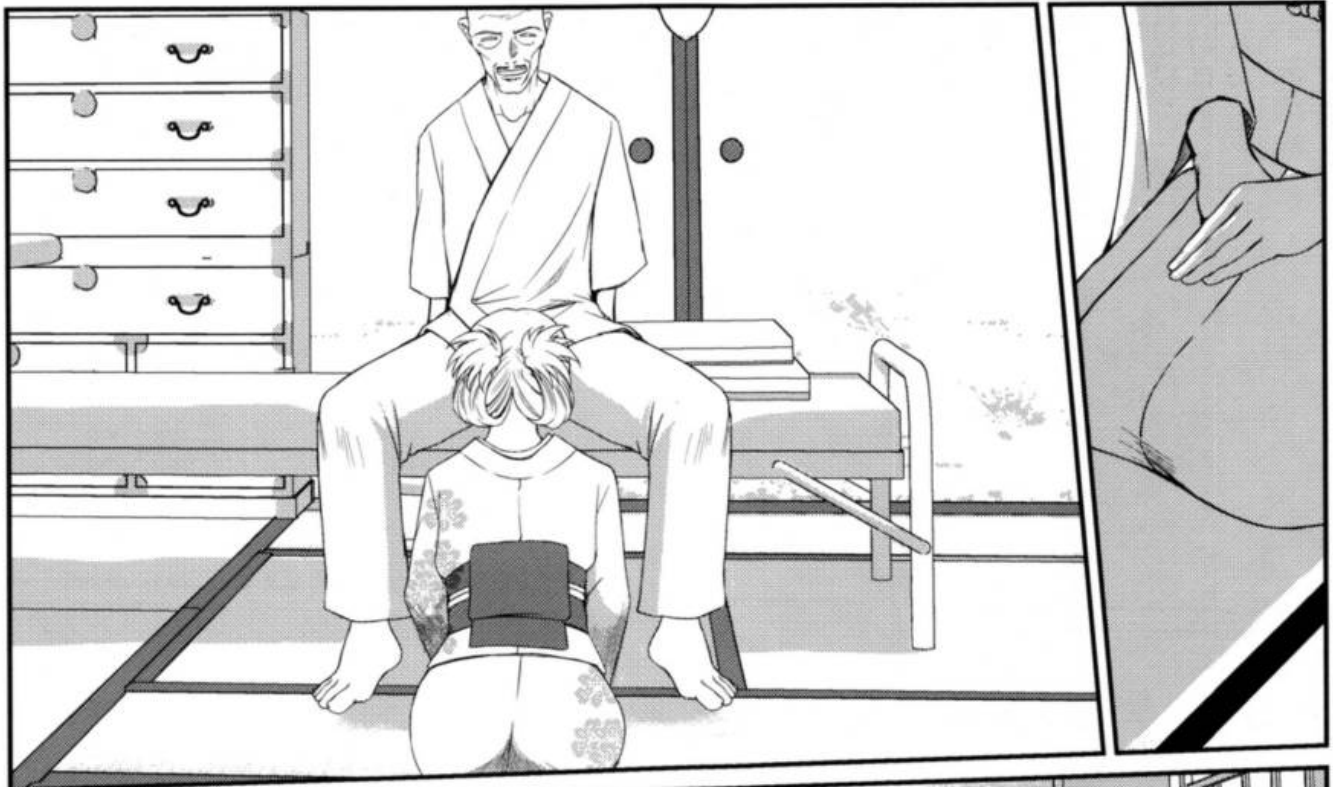
アレを
してもらえると
食欲がわくんだ

頼むよ

は……はい

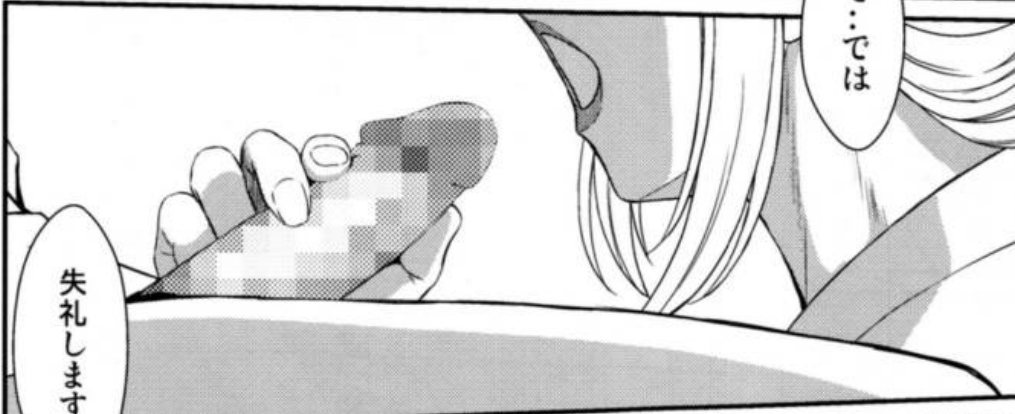
おかし……

その義父が最近……





で...では



失礼します



はむ...



でないと 食事をしてくれないのです

最近の食事の前は いつもこうして さしあげています

もちろん最初は
お断りしました

でも毎日の様に
懇願され

長男の嫁として
これ以上拒む事は
出来ませんでした

もっと睡を
たらしめて…

お食事も
とらない様に
なつては…

はは
はは

はは
はは

タマは表面の皮を
吸い込むように

そうそう
空気をふくませて

よだれが溢れるので
とても恥ずかしいのですが

空気を含めながら
音をたてて口一杯に
吸い込みます

おおお
いいぞ

いいぞお
香取さん

これが義父の
お気に入りです

もっと奥だ

もっと奥

興奮して
両手で頭を抑えつけると
いよいよ射精になります

ん
ん

はあ
はあ

義父のペニス
喉の奥まで届き

吐きそうになるのを
耐えながら
口での抽送を続けると

おおっ

射精るよ
香取さんっ

出るっ



義父の
生臭く暖かい精液が
口いっぱいにはまります

ペニスの中に
ある分も
口で吸い出し

呑みこみます

射精が
途切れ途切れの時も
あるので全部を口で
受け止めきれない時も
あります

すまん
まだ：

ちゅぽっ



はあーん

これで義父も朝食に手を付けてくれるはずですよ

こ：これで良いですね

さ：早くお食事を

すまんな香取さん

今日は身体の調子が良い様だ

お願いだ

はあーん

しかし

その日はそれだけで終わりませんでした

なんとかしておくれ♡

ちよつと

心配ない

そ：そうではなくて！

もちろん激しく抵抗しようと思えばできました。しかし…

せがれには内緒にしておいてやるから♡

ちよつと待ってくださいお義父さまっ

繰り返しますが義理の父に逆らう事など：

はっ

はあああ

おおお
これが香取さんのおまんこか

あ

あ

固く締まった肉の壁が
いくつも重なって
ワシのチンポを
キュッと締め付ける

あ

またキュッと
締まった♡

これはセガレが
夢中になるわけだ

そんな
恥ずかしい

そ…
それは
提督が…

あ

あ

あ

ワシも好きだ。
血は争えんな♡

息子の
趣味かね？

あ

ほう、
香取さんは
毛深いんだな
手入れは
していない
のかね？

お持ちしたお食事も
もうこの頃には
冷めてしまいます

お義父さまが
料理よりも夢中に
味わっているのは…

あんっ
おっぱい

ほ…
母乳はどうした
出さない？
早くっ

そんなに
強く吸わないで
ください

獣の様に
腰を激しく
突き立てつつ

赤ん坊の様に
胸を揉みしだき
吸いつく義父に

あっ♡

吸いすぎ
です！

あん
お義父さまっ

身体を
貪り喰われる様な
感覚に陥ります

跡が
残っちゃう

も…もう
出ません

出ません
ったら！

そう
私は義父に
食べられているのです

ああだめっ
お義父さまっ

おおっ
また締まってきた

口だけでなくおまんこでも
ワシのチンポを悦ばせて
くれるのだな♡

め
激し
すぎます！

ちがっ

違いますっ

め

そんな
ことっ

め

め

違うものかっ

いやらしい肉の壁が
ここぞとばかりに
ワシのチンポに
絡みついておるぞ

め
すぐに
出してやるぞ！

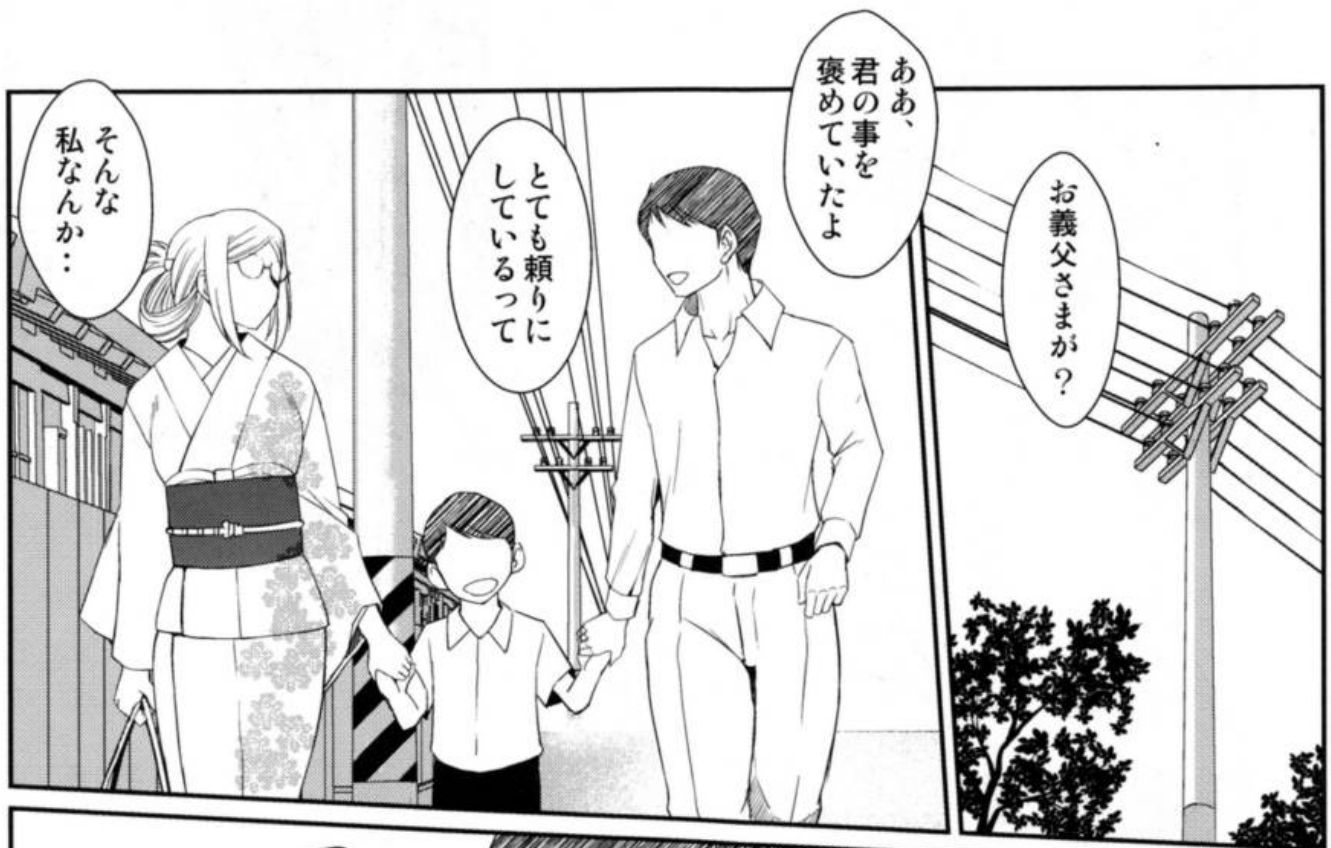
め
こちらにも
ワシの子種が
欲しいのだな♡

出してやるぞ

だめっ

だめっ

め
膣内は
だめですっ



ああ、
君の事を
褒めていたよ

お義父さまが？

とても頼りに
しているって

そんな
私なんか：



最近食欲も
戻ってきて
随分と体調も
良い様だ

君の料理の
おかげだと
言っていた

妻が褒められて
私も嬉しい



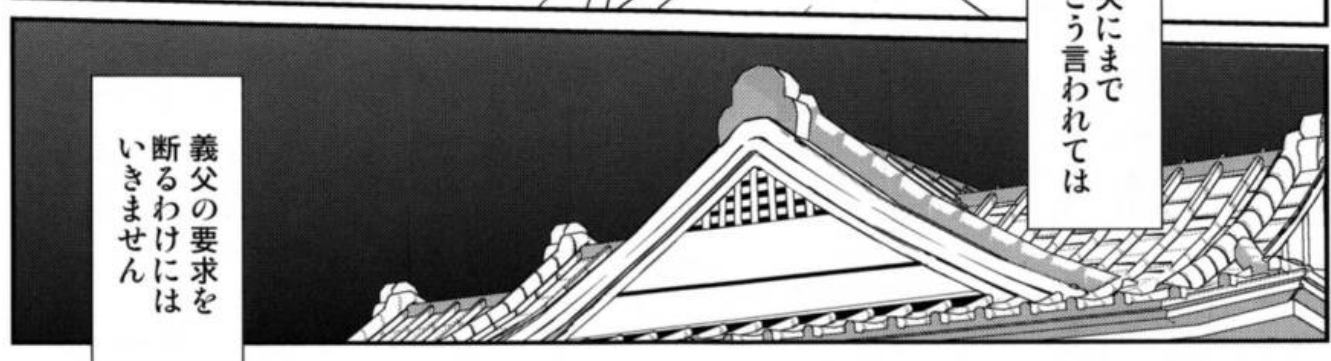
これからも
父さんの事
よろしく頼むよ

香取

は：
はいっ

もちろんです
あなた

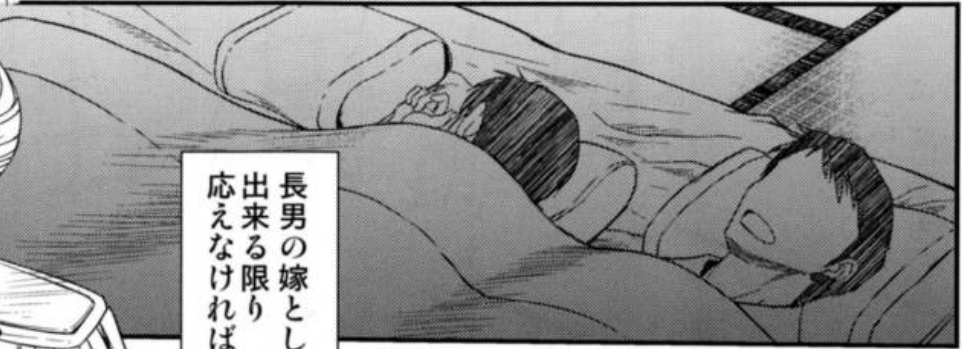
夫にまで
こう言われては



義父の要求を
断るわけには
いきません



長男の嫁として
出来る限り
応えなければ



失礼します

私の現役の頃の
制服姿が見たい



おお、今でも
よく似合ってる
じゃないか

それが義父の
今日の要望でした



このへんでいいですか？

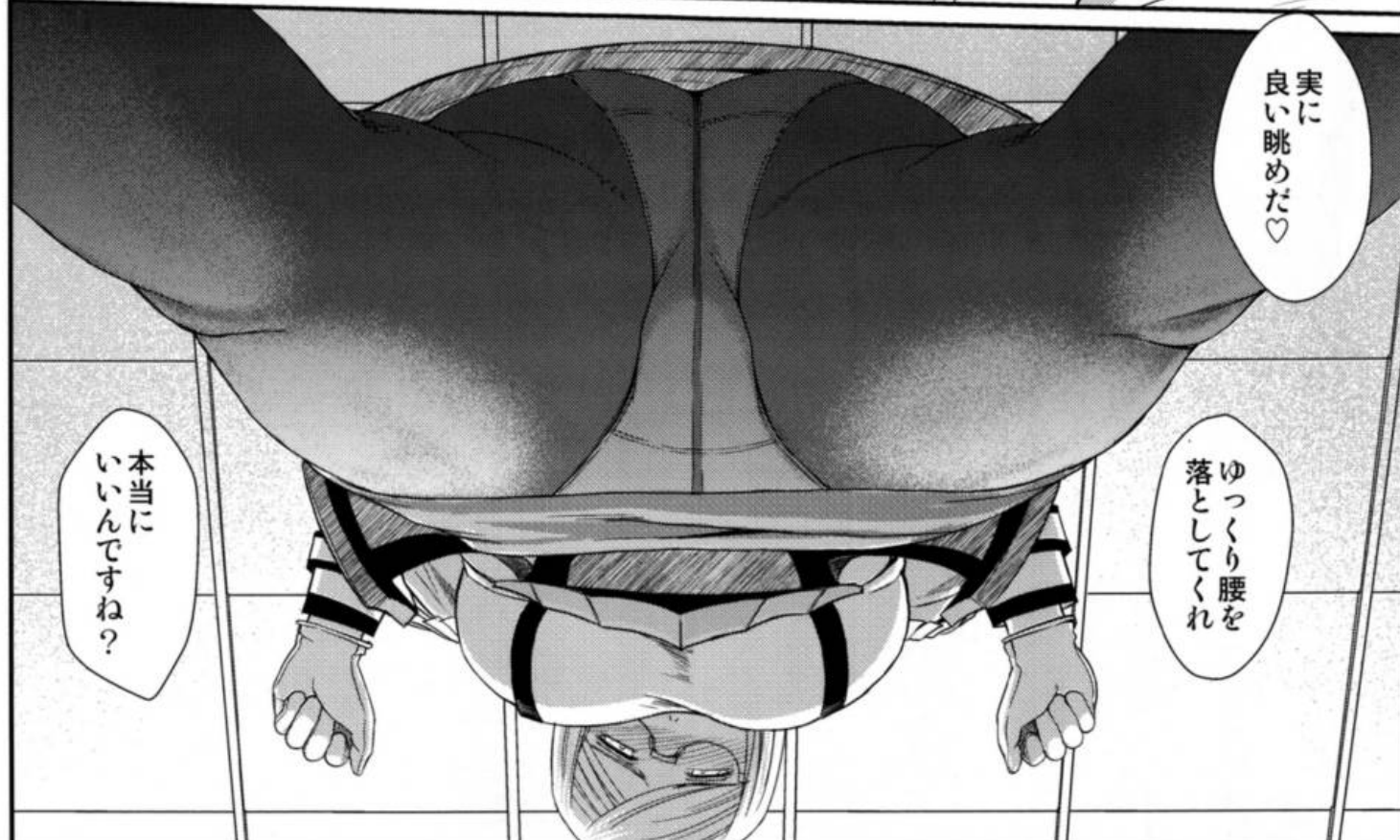
もう少しこっちへ



ザンザン



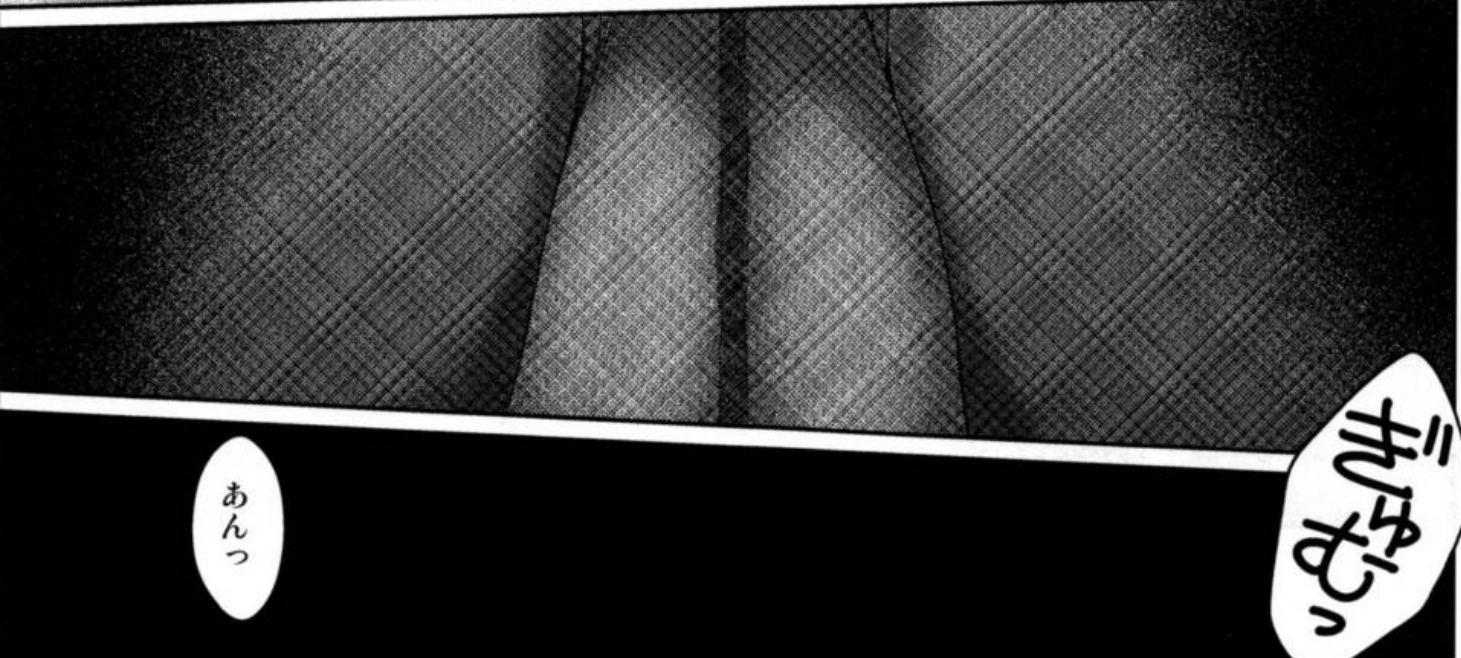
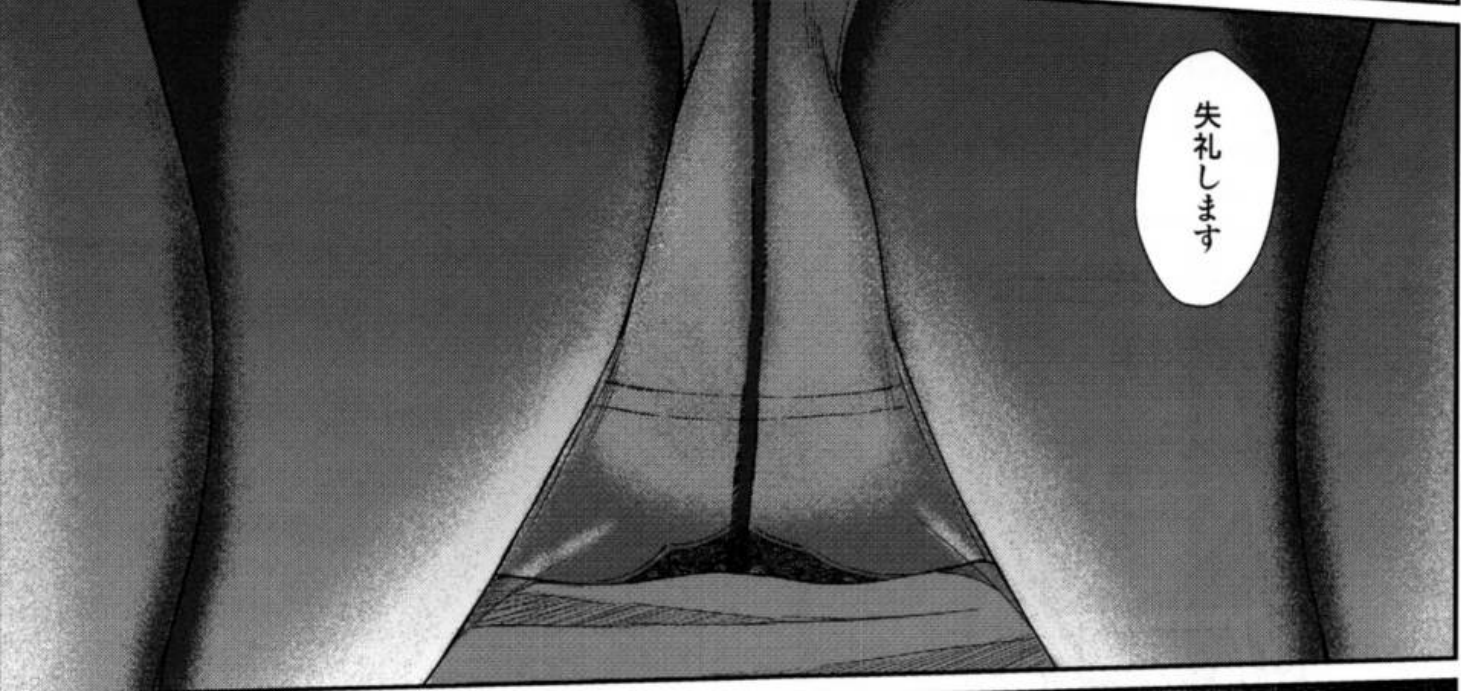
そうそのへんだ



実に良い眺めだ♡

ゆっくり腰を落としてくれ

本当にいいんですね？



義父に
この様な性癖があるとは
知りませんでした

これで
いいのですか？

重く
ないですか？

息は：
苦しくないですか？

もふっ

もふっ

もふっ

ああ、
大丈夫
最高だ♡

こんな恥ずかしい事に
興奮するなんて…

すーはー

おおっ
おおっ♡

ストッキングで
ほどよく蒸れた
汗のおいが
たまらんっ

すーはー

鼻の奥の奥まで
吸いこませて
もらおう♡

そ：
そんな恥ずかしい事
おっしゃらないで
くださいっ

どれどれ
奥はどんな匂いが
するのかな？

すーはー

きやつ

きやつ



横が紐状の下着も
義父の要望です

ストッキングを
履いたまま、
しやすいという
理由で：

義父の舌での
愛撫は：まるで：

待ちこがれた餌に
しゃぶりつく
動物の様に：

これを
味わいたかった

尿と愛液の混ざった
甘酸っぱい口あたり

音…：
恥ずかしい

あんっ
音っ

あっ

この姿での
君の…

あっ

思い出すよ

君の姿を
初めて見たのは
退役軍人の
式典だったな

あっ

まだ進水して
間もない頃だったと
思うが

あっ

凛々しく、
自信と希望に満ちた
表情をよく憶えている

あっ♡



深夜の部屋に
腰を打ちつける
乾いた音が
響きわたります

お：
お義父さま

カタッ

カタッ

もう少し
静かに：

カタッ

音が：

はっ

良い音を
出してくれる♡

義父の部屋は
離れているとはいえ
夫や子供が
目を覚まさないかと
気が気ではありません

何を言ってる

君のお尻が
大きすぎるから
ではないのかね？

はっ

あれから
年齢を重ねると

さすがに
良い肉つきに
なるのだな

そんな：

お義父さまが
激しすぎるから：

はっ



ほれほれ
もつと奥まで
突いてやるぞっ

も...もう
だめですっ

これ以上
激しく
したらっ

物音で
家族が起きて
しまいますっ

見つかっても
いいじゃないか

もう君は
私のモノも
同じだ

そんな

私は
提督の:

そう、
変えられてる

まだ
そんな事を

そんなの
いやあっ

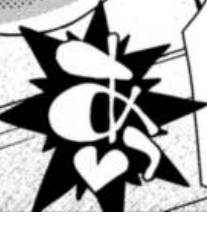
おまんこ
変わっちゃうの
いやっ

もうおまんこは
私のチンポの形に
作り変えられてる
じゃないか♡

もうおまえの
膣内は
ワシのモノだ

見つかっちゃう

しかし義父は
そんな事も気にも留めず、
より激しく、深く、
肉棒を打ち付けてきます





出すぞ！

出すぞ！

私は
義父に…

改められてる…

おそろく

この様な
義父との関係は
今も続いています

おそろく
これからも
続くのでしよう

でも私は夫から
義父の「世話」を頼まれて
いるのですから



拒む事なんて
出来るはずがありません

発 行:サークルOUTERWORLD
発行人:千葉秀作(ちばしゅう)
発行日:2016年12月31日
印刷所:STARBOOKS

連絡先

【メール】

c_outerworld@jcom.home.ne.jp

【twitter】

<https://twitter.com/chibasyu>

【pixiv】

<http://www.pixiv.net/member.php?id=807207>

**PRESENTED
BY
CIRCLE OUTER WORLD**